

データの価値計測に係るアンケート調査 調査項目 (オンライン調査)

2022年9月20日
事務局

(1) 調査対象の設定：「企業活動基本調査」（経済産業省）の調査対象から15,001社のほか、企業活動基本調査では調査対象となっていない金融業。

- 企業活動基本調査の調査対象は、業種ごとの経済活動における重みを反映できるよう、業種の付加価値額（合計）の割合に応じて15,001社の中から枠を配分し、それぞれの業種ではその枠の範囲内でランダム（※）に抽出。
- また、金融業の調査対象は、「免許・許可・登録等を受けている業者一覧」から、銀行133行・保険会社75社等を抽出。

(3) 実施方法：調査対象にウェブアンケートのURLとQRコードを記載した案内状を郵送し、インターネット上で回答するウェブアンケートの形式で実施（アンケート対象者からの電話およびメールでの照会・問合せを受け付けられる体制を整備した）。

(4) 実施期間：2022年1月25日（火）～2月28日（月）

(5) 配布・回収数：配布数は15,209社、回収数は3,329（回収率21.9%。完答数は2,320社）

（※）中小・中堅企業のデータの利活用の実態を把握するため、約15,000社の業種ごとの内訳を付加価値額に応じて決めた上で、中小・中堅企業も含めてランダムに企業を抽出する方法を取った。（なお、「電気・ガス業」と「クレジットカード業、割賦金融業」は企業数が付加価値額に比べて少なく、付加価値額に応じた対象企業を配分できないため、企業活動基本調査で取り上げられている全ての企業を対象企業として取り上げて、余った分をその他の業種に付加価値額に応じて配分した）。

- 調査票においては、下記のように重要用語の説明を付した。
 - 「データ」：データとは、現にデジタル化されて、コンピューターが処理することができる状態のデータのことです。データは自社の製品・サービスの開発・拡大や業務の効率化など自社で活用するものに限りません。事業・業務として他者に提供するデータや、他者に提供することのみを目的とした地図データや気象データ、各種データセット等は含みません。
 - データ「分析」：データ分析とは、文字や数字、画像、映像、音声等のデータを処理し、知識を抽出する行為のことです。データ分析には、他者が提供するデータ解析ツール・サービスを利用して行うものは含みますが、データの閲覧行為や、データを自動的に収集して判定したり、アラームを出したりするもの（例えば、温度が一定以上になると警告音を出すもの）は含みません。
 - データ「活用」：データ活用とは、自社の製品・サービスの開発・サービス拡大や業務の効率化などを目的とする行為のことです。データ活用には、データ分析のほか、データの閲覧行為や、データを自動的に収集して判定したり、アラームを出したりするものも含みます。
 - AI：人工知能（Artificial Intelligence：AI）とは、人間等の知的活動をコンピューターで再現する技術であり、機械学習・ディープラーニングを活用した予測等に活用され、物事の関係性や最適行動の分析だけではなく、データに基づく自動化や欠品・不正の判定、モニタリング等の用途で活用している場合も含みます。
 - 他社サービスのAI：自社で開発やチューニング等を行っていないAI。
 - 自社開発のAI：自社で開発やチューニング等を行っているAI。
 - 集計：時期別の集計や企業規模別の集計等。
 - 解析：統計的な分析等。

2. 調査票の設問一覧

番号	設問	選択肢
Q1	<p>貴社では、それぞれの業務領域において、データ分析を行っていますか？業務領域ごとに、最も当てはまるものを1つ選んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> －経営企画・バックオフィス系業務（総務、人事、経理、財務、法務、IR等） －製品・サービスの企画、開発（研究活動も含む） －マーケティング（広告・宣伝活動も含む） －生産・製造・サービス提供（店舗やネット上での販売活動、営業活動も含む） －物流・在庫管理（製品の運搬に係るものも含む） －保守・メンテナンス・サポート（遠隔監視、カスタマーサービスも含む） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 行っている ● 行っていないが、検討中 ● 行っていないし、検討もしていない ● 業務領域が存在しない
Q2	<p>貴社では、データをどのように処理したものをそれぞれの業務領域で活用していますか？業務領域ごとに、当てはまるものをすべて選んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> －経営企画・バックオフィス系業務（総務、人事、経理、財務、法務、IR等） －製品・サービスの企画、開発（研究活動も含む） －マーケティング（広告・宣伝活動も含む） －生産・製造・サービス提供（店舗やネット上での販売活動、営業活動も含む） －物流・在庫管理（製品の運搬に係るものも含む） －保守・メンテナンス・サポート（遠隔監視、カスタマーサービスも含む） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 集計 ● 解析 ● 他社サービスのAI ● 自社開発のAI

2. 調査票の設問一覧

番号	設問	選択肢
Q3	<p>貴社では、データ分析を行う際、おおよそどのくらい前に蓄積したデータまで遡って、対象としていますか？データの種類ごとに、最も当てはまるものを1つ選んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 顧客（個人）の基本データ（氏名、住所、性別等） - 顧客（法人）の基本データ（企業名、住所、資本金等） - 顧客等のやり取りデータ（営業日報、購買履歴、問い合わせ履歴、市場調査結果等） - Web上のアクションデータ（検索・アクセスログ、口コミ・投稿データ等） - 人の行動に関するデータ（生体情報、位置情報、カメラ映像等） - 機械、機器、車両等の動作に関するデータ（稼働状況、位置情報、速度等） - 自然、公共由来のデータ（地図情報、気象情報等） 	<ul style="list-style-type: none"> • ほぼその日のデータのみ • 1週間程度前のものまで • 1か月程度前のものまで • 3か月程度前のものまで • 約半年前のものまで • 約1～2年前のものまで • 約2～3年前のものまで • 約3～5年前のものまで • 5年以上前のものまで • 分からない • データを蓄積していない
Q4	<p>貴社では、それぞれの業務領域においてデータ分析をする際、どの種類のデータを用いていますか？業務領域ごとに、当てはまるデータの種類をすべて選んでください。</p>	<p>- (Q4-1~Q4-6までで回答)</p>

2. 調査票の設問一覧

番号	設問	選択肢
Q4-1	【経営企画・バックオフィス系業務（総務、人事、経理、財務、法務、IR等）】の業務領域で分析するデータの種類をお答えください。	
Q4-2	【製品・サービスの企画、開発（研究活動も含む）】の業務領域で分析するデータの種類をお答えください 問い合わせ履歴、市場調査結果等）	<ul style="list-style-type: none"> • 顧客（個人）の基本データ（氏名、住所、性別等） • 顧客（法人）の基本データ（企業名、住所、資本金等）
Q4-3	【マーケティング（広告・宣伝活動も含む）】の業務領域で分析するデータの種類をお答えください。	<ul style="list-style-type: none"> • 顧客等のやり取りデータ（営業日報、購買履歴問い合わせ履歴、市場調査結果等） • Web上のアクションデータ（検索・アクセスログ、口コミ・投稿データ等）
Q4-4	【生産・製造・サービス提供（店舗やネット上での販売活動、営業活動も含む）】の業務領域で分析するデータの種類をお答えください。	<ul style="list-style-type: none"> • 人の行動に関するデータ（生体情報、位置情報カメラ映像等） • 機械、機器、車両等の動作に関するデータ（稼働状況、位置情報、速度等）
Q4-5	【物流・在庫管理（製品の運搬に係るものも含む）】の業務領域で分析するデータの種類をお答えください。	<ul style="list-style-type: none"> • 自然、公共由来のデータ（地図情報、気象情報等）
Q4-6	【保守・メンテナンス・サポート（遠隔監視、カスタマーサービスも含む）】の業務領域で分析するデータの種類をお答えください。	

2. 調査票の設問一覧

番号	設問	選択肢
Q5	<p>貴社で活用しているデータについて、2020年度末（2021年3月31日）時点における容量の総計と、2019年度末（2020年3月31日）からどの程度増減したかをご記入ください。また、可能な場合には、算出方法や前提条件等についてもご記入ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 2020年度末時点におけるデータ容量の総計（TB単位で自由記述） • 2019年度末からの増減（TB単位で自由記述） • 算出方法や前提条件等（自由記述）
Q6	<p>貴社で活用しているそれぞれのデータの種類の容量の割合は、どの程度ですか？合計が100%になるように、ご記入ください。正確な割合を把握していない場合、おおよその値（例：25%、50%等）で構いません。</p> <ul style="list-style-type: none"> －顧客（個人）の基本データ（氏名、住所、性別等） －顧客（法人）の基本データ（企業名、住所、資本金等） －顧客等のやり取りデータ（営業日報、購買履歴、問い合わせ履歴、市場調査結果等） －Web上のアクションデータ（検索・アクセスログ、口コミ・投稿データ等） －人の行動に関するデータ（生体情報、位置情報、カメラ映像等） －機械、機器、車両等の動作に関するデータ（稼働状況、位置情報、速度等） －自然、公共由来のデータ（地図情報、気象情報等） 	<ul style="list-style-type: none"> • %単位で自由記述

2. 調査票の設問一覧

番号	設問	選択肢
Q7	貴社で活用しているデータのうち、2020年度に外部から入手したデータは、どのような種類のものでしたか？当てはまるものをすべて選んでください。	<ul style="list-style-type: none">• 国内のデータ販売会社のもの• 海外のデータ販売会社のもの• 国内の取引先・連携先などが保有するもの• 海外の取引先・連携先などが保有するもの• 国内の公的機関が提供しているもの• 海外の公的機関が提供しているもの• 外部データは利用していない
Q8	Q7で回答した外部データについて、2020年度に貴社は入手のためにいくら支出しましたか？総額をご記入ください。正確な金額を把握していない場合、おおよその値（例：100万円・1000万円等）で構いません。	<ul style="list-style-type: none">• 万円単位で自由記述

2. 調査票の設問一覧

番号	設問	選択肢
Q9	<p>Q6で回答した貴社で活用している種類のデータについて、Q7で回答した外部データは、どの程度の割合を占めていますか？データの種類ごとに、最も当てはまるものを1つ選んでください。正確な割合を把握していない場合、おおよそ当てはまると考えられるものを選んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 顧客（個人）の基本データ（氏名、住所、性別等） - 顧客（法人）の基本データ（企業名、住所、資本金等） - 顧客等のやり取りデータ（営業日報、購買履歴、問い合わせ履歴、市場調査結果等） - Web上のアクションデータ（検索・アクセスログ、口コミ・投稿データ等） - 人の行動に関するデータ（生体情報、位置情報、カメラ映像等） - 機械、機器、車両等の動作に関するデータ（稼働状況、位置情報、速度等） - 自然、公共由来のデータ（地図情報、気象情報等） 	<ul style="list-style-type: none"> • 0% • 5%未満 • 5～10% • 10～20% • 20～30% • 30～40% • 40～50% • 50～60% • 60～70% • 70～80% • 80～90% • 90%以上
Q10	<p>貴社では、データ活用を主導する責任者（CIOやCDO・CDXO等）はいますか？最も当てはまるものを1つ選んでください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 専任の責任者がいる（データ活用を含むデジタル領域全体を所管している場合も含む） • 兼任の責任者がいる（デジタル領域以外も所管している場合） • いない

2. 調査票の設問一覧

番号	設問	選択肢
Q11	<p>貴社では、データを活用できるよう、どのような環境を整備していますか？最も当てはまるものを1つ選んでください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 全社的にデータ活用できる • 複数の部署内でデータ活用できる • 単一部署内でデータ活用できる • 特定業務のみでデータ活用できる
Q12	<p>貴社では、データ分析をどのような体制（部署・担当者）で行っていますか？当てはまるものをすべて選んでください。「その他」を選んだ場合には、その内容をご記入ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • データ分析の専門部署の担当者 • 各事業部門のデータ分析の担当者 • 各事業部門のデータ分析が専門でない人 • 外部委託 • アライアンスやコンソーシアムなど他社等を交えた共同分析 • その他（自由記述）
Q13	<p>貴社では、データ分析を主な業務とする従業員数（正社員のほか、パートタイマーやアルバイト、契約社員、派遣社員等を含む）をご記入ください。正確な人数を把握していない場合、おおよその値（例：10人・100人等）で構いません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 人単位で自由記述
Q14	<p>貴社では、2020年度にデータの保存・保管のためにいくら支出しましたか？正確な金額を把握していない場合、おおよその値（例：10万円・100万円等）で構いません。また、可能な場合には、算出方法や前提条件等についてもご記入ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 万円単位で自由記述 • 算出方法や前提条件等について自由記述

2. 調査票の設問一覧

番号	設問	選択肢
Q15	<p>貴社では、データ活用によって、2020年度には投入面（業務効率化による費用の削減等）にどの程度効果がありましたか？業務領域ごとに、最も当てはまるものを1つ選んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> －経営企画・バックオフィス系業務（総務、人事、経理、財務、法務、IR等） －製品・サービスの企画、開発（研究活動も含む） －マーケティング（広告・宣伝活動も含む） －生産・製造・サービス提供（店舗やネット上での販売活動、営業活動も含む） －物流・在庫管理（製品の運搬に係るものも含む） －保守・メンテナンス・サポート（遠隔監視、カスタマーサービスも含む） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 非常に効果があった ● 多少効果があった ● どちらでもない ● あまり効果がなかった ● 全く効果がなかった
Q16	<p>貴社では、データ活用によって、2020年度には産出面（売上高の増加等）にどの程度効果がありましたか？業務領域ごとに、最も当てはまるものを1つ選んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> －経営企画・バックオフィス系業務（総務、人事、経理、財務、法務、IR等） －製品・サービスの企画、開発（研究活動も含む） －マーケティング（広告・宣伝活動も含む） －生産・製造・サービス提供（店舗やネット上での販売活動、営業活動も含む） －物流・在庫管理（製品の運搬に係るものも含む） －保守・メンテナンス・サポート（遠隔監視、カスタマーサービスも含む） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 非常に効果があった ● 多少効果があった ● どちらでもない ● あまり効果がなかった ● 全く効果がなかった

番号	設問	選択肢
Q17	<p>貴社の代表的な製品・サービスを投入している市場において、貴社と競合する企業は国内外合わせて何社程度ありますか？最も当てはまるものを1つ選んでください。正確な数を把握していない場合、おおよそ当てはまると考えられるものを選んでください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 0社 • 1～2社 • 3～5社 • 6～10社 • 11～20社 • 21～50社 • 51～100社 • 101社以上
Q18	<p>貴社では、どのような目的でデータ活用に取り組んでいますか？当てはまるものをすべて選んでください。「その他」を選んだ場合には、その内容をご記入ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 新規の製品・サービスの開発 • 既存の製品・サービスの品質の向上 • 業務プロセスの改善 • 労働生産性の向上 • 労働投入量（マンアワーあるいはメンバーズ）の削減 • 付加価値の増加 • 原材料費・外注費・在庫管理費等の費用の削減 • その他（自由記述）

2. 調査票の設問一覧

番号	設問	選択肢
Q19	<p>貴社では、データ活用に当たって、社内における問題点に関し、どのような事項を認識していますか？当てはまるものをすべて選んでください。「その他」を選んだ場合には、その内容をご記入ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 経営層の理解の不足など組織的な障壁 ● ノウハウのある社員の不足など人的障壁 ● 適切なコンサルティングやソフトウェアの不足など外部リソースの欠如 ● 成功事例の不足など経営モデル・ビジネスモデルの欠如 ● セキュリティなどデータ保護に関する懸念 ● 費用の負担など財務的な障壁 ● その他（自由記述）
Q20	<p>貴社では、データ活用に当たって、社外における問題点に関し、どのような事項を認識していますか？当てはまるものをすべて選んでください。「その他」を選んだ場合には、その内容をご記入ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 提供先で目的外利用（流用）される ● 知見等が競合企業等に利用される ● パーソナルデータの適切な取り扱いが不安 ● 外部に提供したデータが生み出す収益を十分に享受できない ● 取引の相手方のデータガバナンスが不安 ● 公正な取引市場が不在 ● その他（自由記述）
Q21	<p>（銀行業のみ回答）データ活用について、金融分野におけるオープンAPIの取組に期待が寄せられているといった意見があります。貴社においてオープンAPIを活用したビジネスを更に推進していくための問題点・課題等について、その内容をご記入ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 自由記述

番号	設問	選択肢
Q22	<p>貴社では、AIをどのように活用していますか？AIの技術ごとに、最も当てはまるものを1つ選んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> —文章・言語などテキストデータの認識、分析、生成を行う技術 —画像・映像データの認識、分析、生成を行う技術 —音声データの認識、分析、生成を行う技術 —機械などの制御や操作を行う技術 —最適化や推論を行う技術 	<ul style="list-style-type: none"> • 活用している • 関心はあるが、活用していない • 関心がない
Q23	<p>貴社では、AIを用いて分析する際に活用するデータをどのように収集・分析していますか？AIの技術ごとに、最も当てはまるものを1つ選んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> —文章・言語などテキストデータの認識、分析、生成を行う技術 —画像・映像データの認識、分析、生成を行う技術 —音声データの認識、分析、生成を行う技術 —機械などの制御や操作を行う技術 —最適化や推論を行う技術 	<ul style="list-style-type: none"> • 自社でデータを収集し、自社で分析を行っている • 自社でデータを収集するが、他社が行った分析の結果を活用している • 他社が収集したデータを活用し、自社で分析を行っている • 他社が収集したデータを活用し、他社が行った分析の結果を活用している

番号	設問	選択肢
Q24	<p>貴社では、AIの活用の効果をどのように評価していますか？目的ごとに、最も当てはまるものを1つ選んでください。「その他」を選んだ場合には、その内容をご記入ください</p> <ul style="list-style-type: none"> －新規の製品・サービスの開発 －既存の製品・サービスの品質の向上 －業務プロセスの改善 －労働生産性の向上 －労働投入量（マンアワーあるいはメンバーズ）の削減 －付加価値の増加 －原材料費・外注費・在庫管理費等の費用の削減 －その他（自由記述） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 非常に効果があった ● 多少効果があった ● どちらでもない ● あまり効果がなかった ● 全く効果がなかった ● この目的のためには活用していない
Q25	<p>貴社では、AIの活用によって従業員数（正社員のほか、パートタイマーやアルバイト、契約社員、派遣社員等を含む）はどのように変化しましたか？最も当てはまるものを1つ選んで、増減した割合をご記入ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● AIの活用によって代替された従業員を削減したり、別の業務に配置転換したりした ● AIの活用によって生じた業務のために新たに従業員を増やした ● AIの活用による従業員の削減や増加はない

番号	設問	選択肢
Q26	<p>貴社においてAIの活用によって従業員数は（正社員のほか、パートタイマーやアルバイト、契約社員、派遣社員等を含む）どの程度増減しましたか？従業員数が増えている場合は+（プラス）、減っている場合は-（マイナス）を付けて、AIの活用前と比べてその割合をご記入ください。従業員数の増減を正確に把握していない場合、おおよその値（例：-1%・+5%等）で構いません。また、可能な場合には、算出方法や前提条件等についてもご記入ください。</p>	<ul style="list-style-type: none">• %単位で自由記述• 算出方法や前提条件等について自由記述
Q27	<p>本調査の質問項目や実施方法等について、改善に関する要望・意見があれば、ご記入ください。内容を検討の上、次回以降の調査の企画立案に活用させていただきます。</p>	<ul style="list-style-type: none">• 自由記述